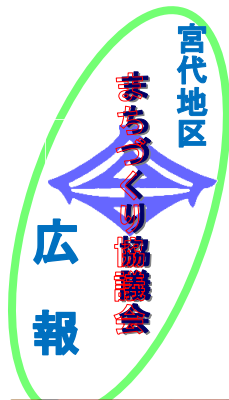


# 宮代地区まち協通信

第105号

発行日  
令和 4年9月1日

2022年



南宮大社の“寅”

## 可児市竹林遊歩道

撮影：福本莞さん

### 岐阜県可児市土田

「かぐや姫の散歩道」（木曾川渡し遊歩道）とも呼ばれ木曾川沿いに続く全長600メートルの遊歩道です。道沿いに竹林が広がっており、京都嵐山にある竹林は有名ですが、この竹林の魅力は「静寂」「川の音」「鳥の声」「風の音」など絶好のリラクゼーションを堪能できます



## 「宮代地区農地水保全活動」 農地・水保全組合代表 田邊 敏之

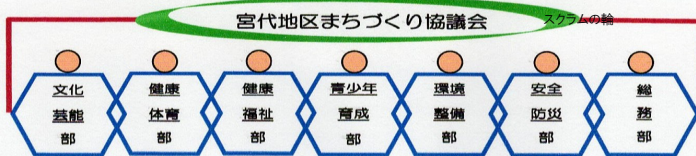


正式名称は、宮代地区「農地・水保全」活動組合と云います。この制度は農業・農村は国土保全、水源かん養、自然環境保全、景観形成等の多面的機能を有しており、その利益は広く国民全体が享受しています。しかし今日では、農村地域の高齢化、人口減少、後継者の離農化により地域の共同活動等によって支えられてきた多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。そこで国は「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」により、地域の田・畑の面積に応じて交付金が支払われて多面的機能を支援しています。<国全体で500億円>宮代地区では平成23年に設立し10年以上経過しており、5年毎に見直されています。垂井町の各地域に同様の活動組合があります。宮代地区でも農地・農業用水・ため池等の資源の保全管理や農村環境の保全を図り農道等の施設の長寿命化を図る活動をしています。その構成員は、農業関係者、小中学校PTA、自治会、長寿会、消防団等の代表者の皆さんです。その活動は年間計画に基づき、草刈り、ゴミ拾い作業、水路修繕、花植ロード、鳥獣ネット点検等を行います。

鳥獣対策では、数年前に山間部一帯に防獣ネットを張りその成果が現れました。定期的に防獣ネットの点検、破損修理等に努めております。又、鳥獣対策協議会を立ち上げ、わな捕獲で山に戻らないシカ等の捕獲、わなの巡回点検をしています。環境保全では、美濃里・山田川地区の道路側道に花植えを年2回、子どもさん父母のボランティア活動を行っています。その他に小学校の課外活動でさつま芋・トウモロコシの植え付け、収穫の支援また、草刈り応援隊を立ち上げ、「中山間地域等直接支払制度」と合同で活動を始めました。以上、私達は行政に頼らず住民皆様の協働作業のリーダーとして、住民の参画を願いつつ活動していますので皆さんの自主的参画を期待致します。

## 目次

- 宮代農地水保全活動
- 9月行事予定
- 「運転免許の返納」について
- 活動報告 <7月・8月の活動>
- 文芸の広場 中山社 北野俳句会
- 《南宮大社宝物殿のお宝》について



# 行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画	2日・16日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	土曜教室（子どもの陶芸） <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">延期</span>	3日 9:00~12:00	土	まちセン 大会議室	
3	絵手紙教室	11日・25日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
4	中山社 北野句会	14日 9:30~11:00	水	まちセン 大会議室	会員募集中
5	食生活改善研修会	16日 9:30~12:30	金	まちセン 大会議室	
6	農地・水保全活動組合会議	22日 19:00~21:00	木	まちセン 大会議室	
7	お花教室	24日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	小学生①部 9:30~ ②部 10:30~
8	陶芸教室	24日・25日 9:30~17:00	土・日	実習室	会員募集中

## 運転免許の返納について

高齢者の運転免許の自主返納者数が高まっていることが話題となっています。

免許を自主返納する人はここ十年間で約12倍にも増加しているそうです。免許の返納の理由としては、運転に自信がなくなり、不安がある。うっかりミスが多くなり、はっと・ひやりが増えた。発見が遅れ、身体機能や反射神経の低下を感じるようになった。など色々な理由で、有効期限が残っている免許を返納することをいいます。車の運転が出来なくなると不便なことも多く、返納を迷っている人も沢山いらっしゃるのも事実です。

運転免許の返納を周囲に説得したことがある人のうち相手が親の場合が70%以上と最多。高齢ドライバーの重大事故が社会問題化するなか、こんな傾向が明らかになりました。説得に応じた人は67%、返納した人の年齢は70・80代が9割を占め、その説得方法は「運転の危うさについて」話し合い、納得してもらったとの事。生活環境によっては返納が難しい人もおみえになります。少子高齢化が進むなか、交通機関の発達や、交通手段に関する支援の充実が返納するにあたり大きな要素になると思います。

いずれにしても、お互いの思いやりで安全な運転に心掛けましょう。

小・中学生の交通安全  
啓発ポスターより



# 活動報告



7/20~8/19

みれあうにころ集に津  
明るく住みよいまちへ  
宮代地区まちづくり協議会

7月23日 千之子ども教室「お花教室」がコロナ感染対策のため二回に分けて開催されました。



7月23日 「整体クラブ」が初めてまちづくりセンターにて開催されました。



7月23日 「農地・水環境保全活動組合」の役員会が開催され山への不法投棄の対策を検討されました。



7月24日 「宮代夏祭り実行委員会」が開催され、各団体のイベントの実施内容について意見交換されました。



8月1日 「シニアはつらつ教室」がコロナ感染対策のため、二回に分けて開催されました。



8月4日 大正琴 TS 琴好会が演奏の練習会を開催されました。



8月5日 水墨画クラブが、まちセン大会議室で午後7時から開催されました。



8月10日 中山社 北野句会が開催され、まち協通信に掲載する四句を選んで頂きました。



\*蓮の葉の しずく儂き 寺の朝  
川瀬 慶泉

\*遠近の 景色山あり 植田あり  
三和 光子

\*鮎銘菓 川辺の句会 楽しかと  
清水 ルリ

\*国敗れ 苔むす墓石 蟬の宿  
野口 治子



### 南宮大社宝物殿のお宝について 其の十八

写真は許可を頂き撮影しました

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

### 蛇山神事の模型

蛇山神事は、南宮大社例大祭の5月5日に市場野の祭礼場で行われている。右の写真はその模型である。

この神事は、五穀豊穡を願う農耕信仰の神事として伝承されているもので、御田植神事の翌日に行われることに深い意義が込められているという。

深夜、竜神が南宮山奥の蛇谷から蛇頭に遷霊されるのでその時刻、笛と太鼓でお迎えをする。薄明るくなったころ笛、太鼓を鳴らしながら、蛇道と呼ばれる村中の道を通って市場野の祭礼場まで運ばれる。祭場には、蛇山と称する高さ約13メートルの櫓を組み立て、波状の模様を染め抜いた帯を張り巡らして到着を待ちます。

取り付けられた蛇頭(竜頭)は、笛・太鼓のお囃子に合わせて上下、左右に振り乱して口を開閉する。口を開く方向は神田代神社の方向で、つまり東南の方であり、これは古来からの決まりである。深夜に遷霊し、明け方に蛇山に取り付けられてから、神輿が還幸されるまでの間、蛇頭は天空高く舞い続ける。



### <編集後記> 水を大切に

夏と言えば海。大海原という言葉もありますが、海の大きさがどのくらいかを考えたことありますか。地球の表面積のうち、海は70%。表面には水が沢山ある惑星です。地球上にある水分のうち97%が海水といわれています。しかしその体積は地球の0.13%ほど。こうしてみると水の量はものすごく少ないのです。さらに私達が使える水となると、地球上の水の量の0.01%。この現実を知ると、1人1人が本当に大切に水を使わなければいけないと思いませんか。

### 9・10月の休館日

9月6日(火)・13日(火)  
20日(火)・27日(火)  
10月4日(火)・11日(火)  
18日(火)・25日(火)

### 編集・発行

〒503-2124  
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター  
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



まちづくりセンターから西の方角の風景

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい